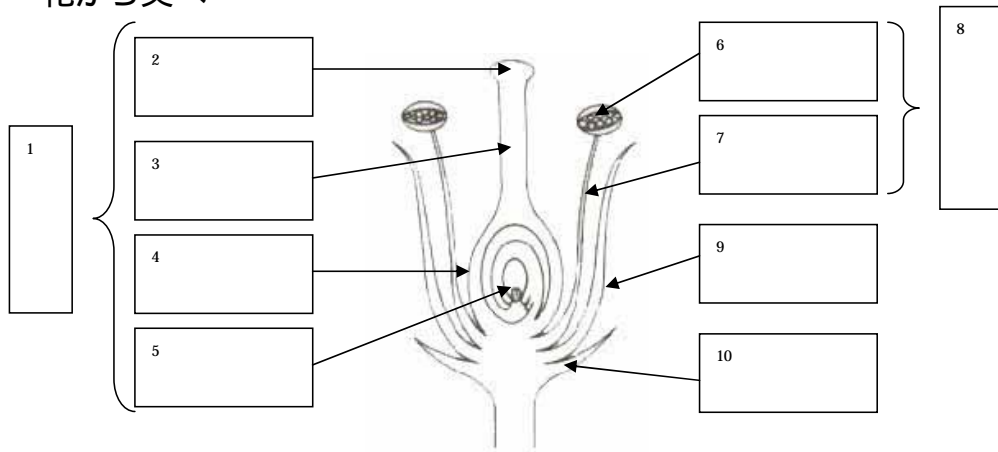
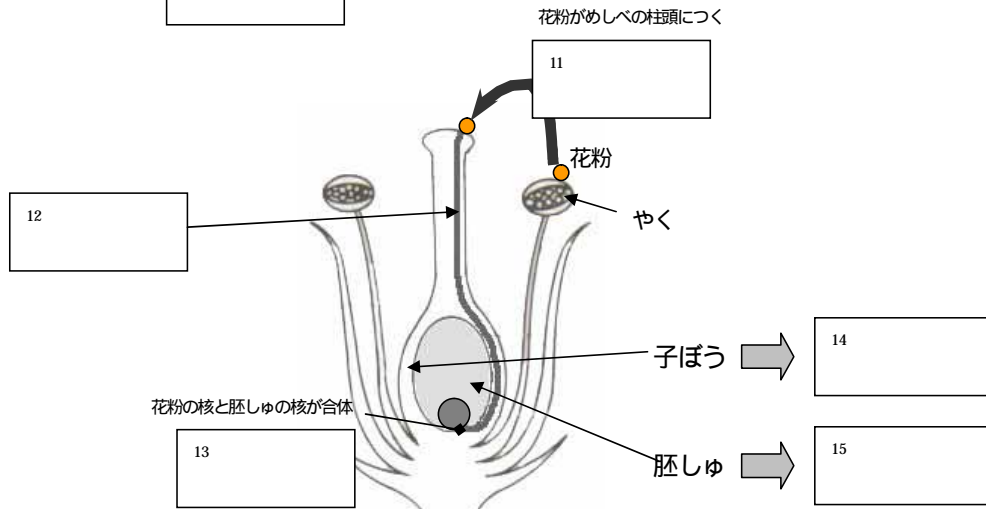


花から実へ



おしべの花粉がめしべの柱頭のちゆうとうにつくことを 11 という。 11 し

た花粉は、 12 をのばし、胚しゅはいしゅにとどく。花粉の中の核と胚しゅの中の核が
 結びつくことを 13 という。 13 後は、子ぼうは 14
 になり、胚しゅは 15 になる。



おしべの花粉が同じ株かぶの花のめしべにつくことを 16 という。(アサガオ・イネ)

おしべの花粉が同じ種類しゆいの別の株の花のめしべにつくことを他花受粉たかうじんという。

ほとんどの花が他花受粉である。
 花粉が風によって運ばれる花を 17 という。代表的なものにはマツ・スギ・トウモ

ロコシなどがある。その花粉は 18 重さ 18 て1度にまかれる数が 19 という
 特徴とくちゆうがある。

昆虫こんちゆうなどによって花粉が運ばれる花を 20 という。

(試験によく出る花粉)

